資料２―⑥

事業改善会議-説明資料

番　号	１-⑥	事業名	環境保全指導員事業

１．何の／誰のために、どのようなことをしていますか？

環境カウンセラー１名を雇用し、小学校等の環境学習支援等の財源活用事業の推進を図っています。

（目的）

・環境学習の機会提供

・資源とごみに関する正しい知識の普及促進

・ごみの減量と再資源化に関する現状の周知

２．この事業によって、どのような効果・成果がありましたか？

（従事事業）

・市内小中学校等における環境学習への支援（出前授業）

・市民提案型ごみ減量活動等補助金に係る事務

・地域学習会（出前講座）　など

年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
出前授業実績	３校８クラス	７校６３クラス	１２校１２０クラス

３．手数料収入をどれだけ・どのように使っていますか？

	支　出	内　訳
令和２年度	２，０８５千円	会計年度任用職員報酬・手当・社会保険料・交通費
令和３年度	２，２２０千円	
令和４年度	２，３０４千円	

４．具体的な仕事の内容は、どのようなものですか？

① 出前授業希望学校を募集（校長会等で説明）

② 学校と授業内容や対象クラス数の調整

③ 出前授業実施

※転入者へのごみ排出方法の説明など、窓口での啓発活動にも従事。

５．市民（利用者）の声はどうですか？

・小学校等への出前講座等における環境学習について、対象に応じた説明をしていただき、受講者の環境問題への理解が深まったと思う。

・ごみ分別の出前授業を受けて、分別やリサイクル・ごみを減らしたり出さないことの大切さを学ぶことができました。

資料２―⑥

６．これまでに、どのような見直しを行いましたか？

・開始年度は、一部の学校へ声掛けを行って、教員と協議しながら授業内容のメニュー化を行い、翌年度より校長会を通じて募集したことにより、参加希望校・クラスが増加しました。

７．どのような課題がありますか？

・出前授業を希望する学校が大幅に増加したことにより、環境カウンセラー１名での対応が困難になりつつあります。（環境カウンセラーに担っていただく事務が出前授業に特化されています。）

８．今後の予定は、どのようになっていますか？

・啓発機会は重要であり、継続実施したいと考えています。
・今後、さらに出前授業を希望される学校が増加すると思われることから、環境カウンセラー等を増員したいと考えています。